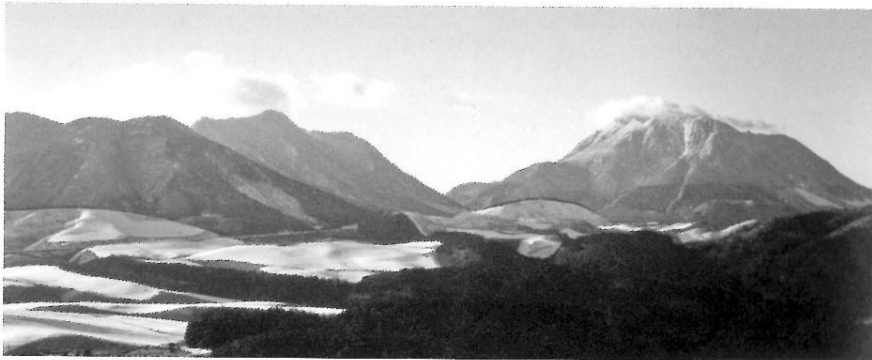


「安心院縄文」第34集 目次

機関誌 第34集の発刊に寄せて	縄文会 会長 林 禎紘	1
第29回 米神山巨石祭	米神山巨石祭 実行委員長 大隈 信彦	2
夏季文化講演会＝「佐田賀来家の大砲製造事業再考」.....		3～10
	大分県歴史博物館 主幹研究員 平川 毅氏	
歴史探訪＝大分県躍進の先駆者「元大分県知事 木下 郁」.....		11～13
	縄文会 会員 小野 正雄	
歴史探訪＝朝ドラ「らんまん」主人公と賀来飛霞の関わり.....		14
	縄文会 会員 賀来 計二	
小・中学生プレゼンコンテスト＝「佐田」アピール大作戦		15～17
	佐田小学校（校長 榎本 美奈子）6年生／佐藤 秀斗、土屋 美結、宮野 愛海 指導／工藤 寿美 教諭	
夏季文化講演会～平川 毅氏		18
小・中学生プレゼンコンテスト～佐田小学校6年生		19
縄文会活動		20～21
縄文会歴史探訪研修実績回顧表		22～23
縄文会夏季文化学習会開催回顧表		24～25
年末文化学習会		26
縄文会役員・会員名簿		27
編集後記・編集委員		31



安心院には「豊後富士(由布岳)が良く似あう」

(表紙撮影：縄文会会員 賀来計二)



機関誌「安心院縄文」 第34集の発刊に寄せて

安心院縄文会 会長 林 禎紘

安心院縄文会が発足して34年目、その間、毎年、機関誌を発行し、会員等の皆様のご協力により、ここに「安心院縄文第34集」を発行する運びとなりました。

10月の夏季研修は、県立歴史博物館 主幹研究員 平川 毅氏による「佐田賀来家の大砲製造事業再考」の貴重な講演を拝聴しました。

佐田神社に「反射炉鋳造展示施設」の設置、縄文会による史跡案内板を設置しましたので、時機を得た講演会となりました。

講演では、佐田賀来家の大砲事業の経過、日出藩との関係、創業の時期、反射炉の建設、鉄製砲製造などを史実に基に丁寧に話され、興味深く聞き入りました。

大砲製造事業は、惟準の業績であるが、賀来飛霞も資料を通じて中心的存在だったことがわかる。この解明を今後の課題として、研究を続けるとのこと。その研究の進化(結果)を期待するとともに講演を聞きたいものです。

小・中学校プレゼンコンテストの小学校の代表の1校として、佐田京石・大年社・賀来一族など「佐田」アピール大作戦を発表した佐田小学校の児童の活動を今年も掲載。嬉しいことです。

「佐田時代めぐりウォーク」に、今年は、縄文会からも参加いたしました。ウォークでは、佐田神社・山蔵のイチイガシなどに佐田小のキッズガイドがあり、佐田地区の歴史を

再確認した「時代めぐり」でした。

今年は、4年ぶりに「米神山巨石祭」が開催され、ロマンと謎につつまれた「米神山巨石祭」、以前は、佐田保育園児の太鼓の演技がありましたが、佐田小の児童代表のガイドが継続して行われています。巨石祭の発足に携わってきた縄文会、巨石祭が今後ますます発展されますよう願っております。

コロナ禍で今年も活動が制限されましたが、案内板の設置と清掃、宇佐市社会福祉協議会のボランティア活動に参加しました。

コロナが収束し、年3回の歴史探訪と講演会が開催でき、歴史と文化を語り合い、縄文会の充実した活動と発展を願っています。

今後とも、ご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

元会員の小野次三氏が逝去されました。小野氏は歴史探訪の折は、いつもビデオカメラを持参し、編集しておりました。

歴史に詳しく、研究心旺盛で、後輩の私には一つ一つが勉強になりました。

ここに謹んでご冥福をご祈念申し上げます。